

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

〈大単元『ふるさと大貫』の学習を3年生から6年生までの4年間を通して実施〉
総合的な学習の時間を中心に、3年生「大貫の自然を楽しもう」「蕪栗沼の生き物たちを紹介しよう」、4年生「自然の宝を知ろう」、5年生「米作りを体験しよう」、6年生「自然環境を見つめよう」「未来を見つめよう」の単元を設定している。

この学習での今年度の活動は、以下のとおりである。

【3年生】

「大貫の自然を楽しもう」

- 学校近くのビオトープ（ふゆみず田んぼ）での生き物調査
 - ・ビオトープにいる生き物を捕獲し、図鑑を使って名前を調べたり、NPO「田んぼ」の職員の方に教えてもらったりした。
 - ・学校周りの田んぼとビオトープの生き物調査を実施し、ビオトープには生き物の種類が多いことを理解した。（生物多様性への気付き）

「蕪栗沼の生き物たちを紹介しよう」

- 蕪栗沼での野鳥観察
 - ・NPO「蕪栗ぬまっこくらぶ」の協力の下、蕪栗沼に行って野鳥観察を実施した。白鳥やガン、オオヒシクイなどの冬の渡り鳥を観察し、見分け方や鳴き声などを学習した。珍しいヘラサギやオジロワシ、ソデグロツルも観察できた。

【4年生】

「自然の宝を知ろう」

- 出前授業
 - ・NPO「蕪栗ぬまっこくらぶ」による生き物出前授業で、蕪栗沼にすむ生き物にじっくりと触れる活動を行った。
- 蕪栗沼での生き物調査
 - ・出前授業で観察した生き物を探したり、そのほかの生き物の名前を調べたりするなど、蕪栗沼で自然とたっぷり触れ合う活動を行った。
 - ・夏と秋の2回実施で、生き物や植物の季節の違いを感じることができた。

【5年生】

「米作りを体験しよう」

- ふゆみず田んぼ（無農薬・無肥料）での一連の米作り体験
 - ・種まき、人間代かき、田植え、除草、稲刈り、脱穀を、NPO「田んぼ」や地域の方、保護者の協力のもと、体験した。
 - ・昔の道具（足踏み式脱穀機や唐箕）を使って脱穀体験をした。
- 生き物調査
 - ・米作りの作業と並行して、田んぼの生き物調査を実施している。図鑑で名前を確認したり、顕微鏡で観察したりしながら生物多様性について学習してきた。

- 植物調査
 - ・ 田んぼの周りで、食べられる植物（救荒植物）探しをして天ぷらにして食した。
- 感謝の会
 - ・ 米作りの作業でお世話になった方を招待し、感謝の気持ちを伝える会を開いた。
- 米の寄付
 - ・ 収穫した米を地元の社会福祉協議会に寄付し、役立ててもらうことにした。
- 賞の受賞
 - ・ この活動が「トム・ソーヤースクール企画コンテスト学校部門優秀賞（安藤スポーツ・食文化振興財団）」を受賞した。（NPO 田んぼの活動として）

【ESD Food プロジェクトに参加】～生産技術（無農薬栽培）～

- 滋賀県の MIHO 美学院との交流
 - ・ テレビ会議
 - 学校紹介や地域の文化などを紹介（1回目）、自分たちの活動紹介（2回目）
 - 互いに無農薬で米や野菜を作っていることがわかり、環境を守ることの大切さに改めて気付いた。
- タイの小学校バンライ校（チェンマイ市）との交流
 - ・ テレビ会議
 - 学校紹介や日本の生活についての紹介（1回目）、自分たちの活動紹介（2回目）
 - 気候の違いを知ったり、栽培方法が無農薬で共通していることを知ったりした。
 - プレゼン用の掲示物の作り方をテレビ会議で教えてもらい、その方法で米作りの1年間をまとめて掲示物を郵送し、交流を深めた。

【6年生】

「自然環境を見つめよう」「未来を見つめよう」

- 地域や世界遺産を調べ、調べたことのプレゼンテーションをする。
 - ・ それぞれが課題をもって調べ、自然環境を守るために自分ができることを発表することができた。
- 蕪栗沼クリーン作戦に参加
 - ・ 大崎市田尻観光協会主催の「蕪栗沼クリーン作戦」に、毎年5・6年生が参加している。見えないところにゴミが捨てられていることを実感しながら、一生懸命にきれいにしようと頑張る姿が見られた。
 - ・ 昨年度に引き続きゴミの量がとても少なかった。この活動が地域に浸透してきたと思われる。

